



freeeサイン for kintone 初期設定マニュアル

※ご利用には下記の環境が準備できていることをご確認ください※

	必要なプラン/コース	初期設定に必要なアカウント	プラン/コースに関するお問い合わせ
freeeサイン	<ul style="list-style-type: none">■ kintone連携プラン■ Light,Light Plus,Proプラン +API連携オプション +kintone連携オプション■ Pro Plusプラン +kintone連携オプション	全権管理者	https://www.freee.co.jp/sign/plan/kintone/
kintone	スタンダードコース	管理者	https://kintone.cybozu.co.jp/price/

目次

※本マニュアルの設定は管理者権限ユーザーで実施してください。

■ 事前準備

- はじめに : [Kintone連携の概要とkintoneコネクタについて](#) P3~P8
- ステップ① : [本設定を実施するアカウントのユーザー情報とアクセス権を確認する](#) P9~P16
- ステップ② : [freeeサインにテンプレート登録しているかを確認する](#) P17~P21
- ステップ③ : [KintoneにIPアドレス制限を設定している場合の確認と設定](#) P22~P26
- ステップ④ : [Kintoneコネクタのユーザの登録を実施する](#) P27~P33

※必ずステップ①~④の準備を実施してから、接続設定にお進みください

■ 接続設定

- ステップA : [freeeサインとkintoneコネクタを接続する](#) P34~P40
- ステップB : [kintoneとKintoneコネクタを接続する](#) P41~P54
- ステップC : [Kintoneコネクタからfreeeサインに登録したテンプレートのアプリを作成する](#) P55~P59

■ 連動設定 (アプリを動作・同期させるための設定を組み込む)

- ステップD : [作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する](#) P60~P68
- ステップE : [freeeサインの設定にWebhookを登録する](#) P69~P76

- 設定完了- テスト動作を実際する前に、必ず操作マニュアルをご参照ください。



はじめに： kintone連携とkintoneコネクタについて



はじめに： kintone連携とkintoneコネクタについて

スタート

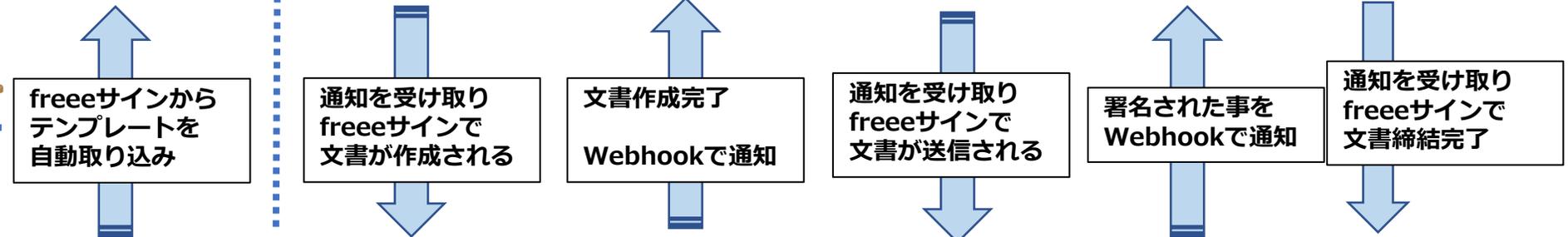
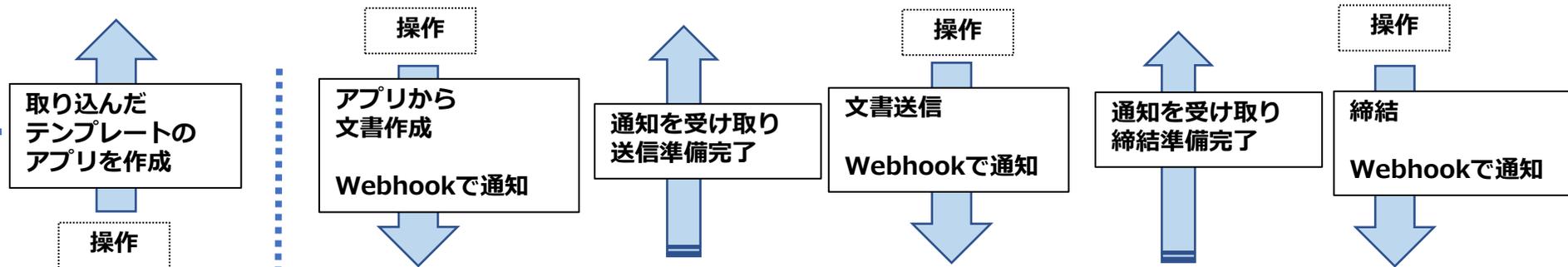
4

- 1.Kintoneとfreeeサインを連携する事で、kintoneの操作のみでfreeeサインで文書を作成・送信・締結を実施します。
- 2.作成・締結した文書はkintoneにアップロードされ、kintoneで一元管理できます。
- 3.Kintoneと連携するためにはkintoneとfreeeサインを連携する設定を行いますが、kintone連携ではkintoneとfreeeサインをつなぐための中間コネクタとなるkintoneコネクタを利用しています。

Kintone連携で文書作成～締結完了の流れが次ページのイメージをご覧ください。

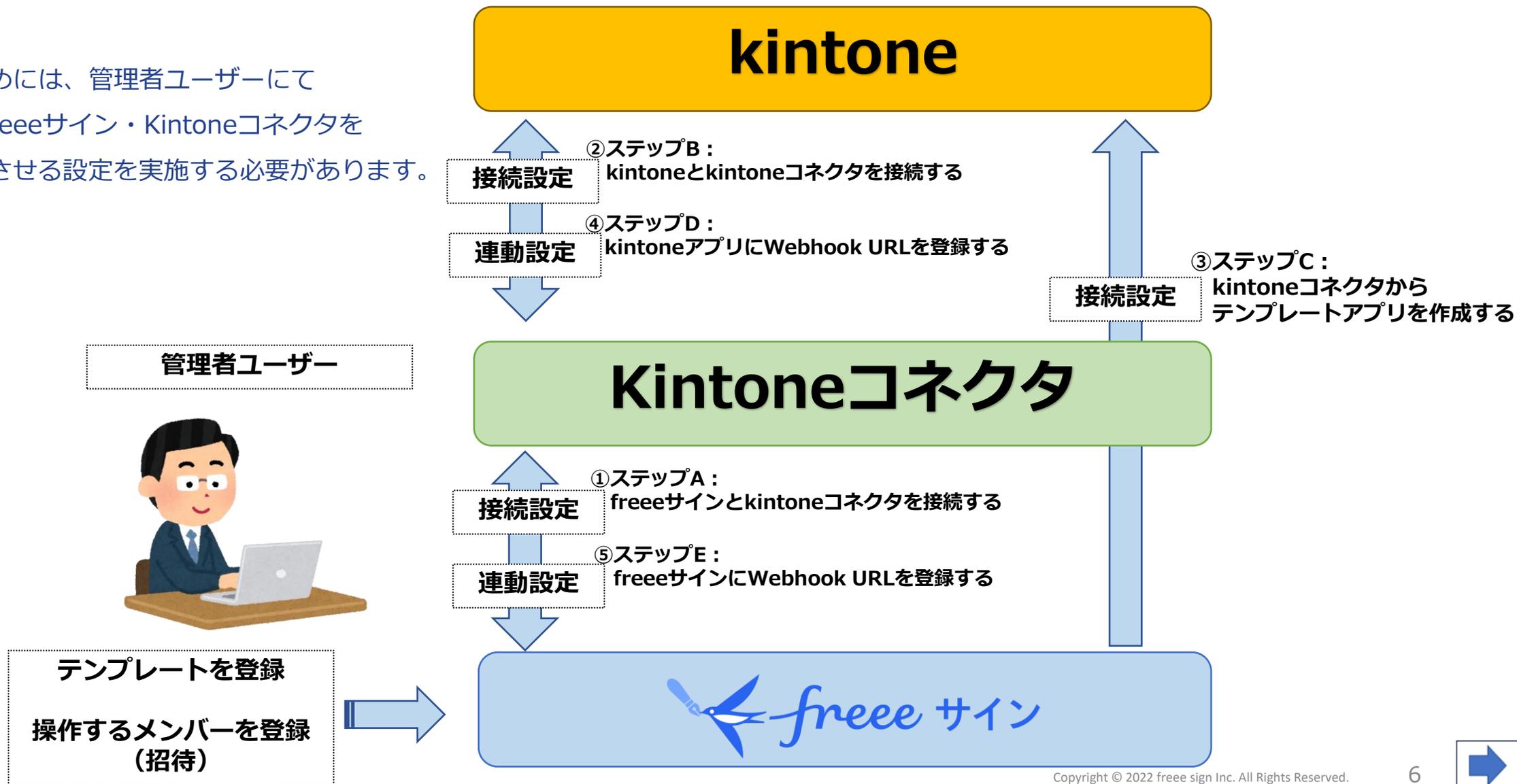


はじめに： kintone連携とkintoneコネクタについて



はじめに： kintone連携とkintoneコネクタについて

連携するためには、管理者ユーザーにて
Kintone・freeサイン・Kintoneコネクタを
接続と連動させる設定を実施する必要があります。





はじめに： kintone連携とkintoneコネクタについて

7

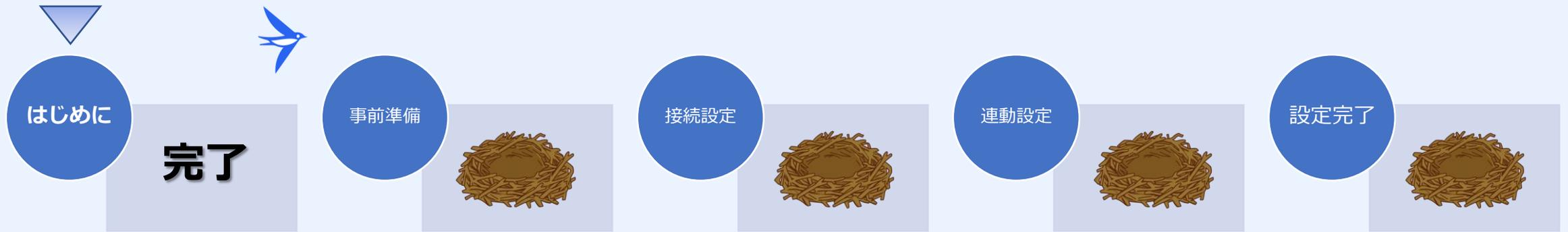
<接続設定を行う前に>

ご利用環境や準備状況によって思うように設定が進めない場合がございます。

本マニュアルでは、スムーズに設定を実施いただけるよう
事前準備を実施いただいたうえで、初期設定（接続設定・連動設定）を
実施いただく流れとなっております。

必ず事前準備を実施していただいてから、初期設定を実施いただきますようお願いいたします。

はじめに : kintone連携とkintoneコネクタについて



次回は : 事前準備 > ステップ① : cybozu共通管理から本設定を実施するユーザー情報を確認する



**ステップ① : cybozu共通管理から本設定を実施する
アカウントのユーザー情報を確認する**



ステップ①：本設定を実施するアカウントの“ユーザー情報”と“アクセス権”を確認する

10

<概要①>

kintone連携では、kintoneで操作・設定するユーザーとfreeサインに登録しているアカウント（メールアドレス）が同一である必要があります。

Kintoneではメールアドレス欄とは別にログイン名に“任意の名前、またはメールアドレス”を登録できるため、ログイン名とメールアドレス欄に別々のメールアドレスで登録する事も可能です。

kintone連携で文書の作成および送信を実施するにあたり、最初にkintoneの「ログイン名」がメールアドレス型であるかをチェックします。

メールアドレス型ではない場合、「メールアドレス」欄にアドレスが登録されているかを確認します。
登録されている場合には“freeサイン”と同じメールアドレスであるかをチェックします。
※いずれかに一致する事で文書の作成および送信が実施いただけます。

なお、「ログイン名」がメールアドレス型の場合には、“ログイン名”のみのチェックとなり、登録しているメールアドレスがfreeサインと同じメールアドレスかをチェックします。

次ページへ進み、初期設定および操作をするkintoneユーザーの“ユーザー情報”をご確認ください。 Copyright © 2022 free sign Inc. All Rights Reserved.

10



ステップ①：本設定を実施するアカウントの“ユーザー情報”と“アクセス権”を確認する

11

1. 「cybozu.com共通管理」ページを開きます。
2. 左側メニューより「組織/ユーザー」を選択し、「組織とユーザーの設定」を開きます。
3. 「組織」一覧から所属している組織を選択し、設定する管理者様の  アイコンをクリックします。



cybozu.com

ホーム
契約状況

ユーザー管理

1 組織/ユーザー

サービスの利用ユーザー
役職
グループ (ロール) 2
一括操作
ファイルからの読み込み
ファイルへの書き出し
ユーザーの一括削除
管理者の設定
組織の事前設定

ドメイン: .cybozu.com ドメインID:

組織とユーザーの設定

組織 組織の追加

ユーザー ユーザーの追加 プロフィール項目の設定

1 - 26 / 26

表示名	ログイン名	すべてのユーザー	利用するサービス
つぼめ太郎	つぼめ太郎	使用中	

3

ステップ①：本設定を実施するアカウントの“ユーザー情報”と“アクセス権”を確認する

12

1. 「ユーザー情報の編集」ページより、「ログイン名」と「メールアドレス」欄のパターンを確認します。

※パターン②④⑤⑥に該当する場合はステップ②へ進みます。パターン①③⑦⑧⑨に該当する場合は、次ページへ進んでください。

パターン① ログイン名：非メールアドレス型
メールアドレス：未登録



ログイン名 *	つぼめ太郎
ここで設定したログイン名でログインします。	
メールアドレス	

パターン② ログイン名：非メールアドレス型
メールアドレス：freeサインと同じアドレス



ログイン名 *	つぼめ太郎
ここで設定したログイン名でログインします。	
メールアドレス	support@freee-sign.com

パターン③ ログイン名：非メールアドレス型
メールアドレス：freeサインと異なるアドレス



ログイン名 *	つぼめ太郎
ここで設定したログイン名でログインします。	
メールアドレス	info@ninja-sign.com

パターン④ ログイン名：freeサインと同じアドレス
メールアドレス：未登録



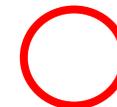
ログイン名 *	support@freee-sign.com
ここで設定したログイン名でログインします。	
メールアドレス	

パターン⑤ ログイン名：freeサインと同じアドレス
メールアドレス：freeサインと異なるアドレス



ログイン名 *	support@freee-sign.com
ここで設定したログイン名でログインします。	
メールアドレス	info@ninja-sign.com

パターン⑥ ログイン名：freeサインと同じアドレス
メールアドレス：freeサインと同じアドレス



ログイン名 *	support@freee-sign.com
ここで設定したログイン名でログインします。	
メールアドレス	support@freee-sign.com

パターン⑦ ログイン名：freeサインと異なるアドレス
メールアドレス：未登録



ログイン名 *	info@ninja-sign.com
ここで設定したログイン名でログインします。	
メールアドレス	

パターン⑧ ログイン名：freeサインと異なるアドレス
メールアドレス：freeサインと異なるアドレス



ログイン名 *	info@ninja-sign.com
ここで設定したログイン名でログインします。	
メールアドレス	info@ninja-sign.com

パターン⑨ ログイン名：freeサインと異なるアドレス
メールアドレス：freeサインと同じアドレス



ログイン名 *	info@ninja-sign.com
ここで設定したログイン名でログインします。	
メールアドレス	support@freee-sign.com

ステップ①：本設定を実施するアカウントの“ユーザー情報”と“アクセス権”を確認する

13

1.前ページで該当したパターン①③⑦⑧⑨に応じて設定を変更します。

パターン① ログイン名：**非メールアドレス型**
メールアドレス：**未登録**

<対処方法>

- ①メールアドレス欄にfreeサインと同じアドレスを登録する

パターン③ ログイン名：**非メールアドレス型**
メールアドレス：**freeサインと異なるアドレス**

<対処方法> ※以下のいずれかひとつを実施してください

- ①ログイン名をfreeサインと同じメールアドレスに変更する
- ②メールアドレス欄のアドレスをfreeサインと同じメールアドレスへ変更する
- ③freeサインのアカウントを、**メールアドレス欄と同じアドレス**に変更する
<変更方法FAQは[コチラ](#) ※【メールアドレスを変更する場合】欄参照>

パターン⑦ ログイン名：**freeサインと異なるアドレス**
メールアドレス：**未登録**

<対処方法> ※以下のいずれかひとつを実施してください

- ①ログイン名をfreeサインと同じメールアドレスに変更する
※ログイン名に登録していたメールアドレスは必要に応じてメールアドレス欄に登録してください。
- ②freeサインのアカウントを、**ログイン名と同じアドレス**に変更する
<変更方法FAQは[コチラ](#) ※【メールアドレスを変更する場合】欄参照>

パターン⑧ ログイン名：**freeサインと異なるアドレス**
メールアドレス：**freeサインと異なるアドレス**

<対処方法>

- ①ログイン名をfreeサインと同じメールアドレスに変更する
- ②freeサインのアカウントを、**ログイン名と同じアドレス**に変更する
<変更方法FAQは[コチラ](#) ※【メールアドレスを変更する場合】欄参照>

パターン⑨ ログイン名：**freeサインと異なるアドレス**
メールアドレス：**freeサインと同じアドレス**

<対処方法>

- ①ログイン名とメールアドレス欄のアドレスを入れ替える
- ②ログイン名をfreeサインと同じメールアドレスに変更する
※ログイン名に登録していたメールアドレスは必要に応じてメールアドレス欄のアドレスと入れ替えてください。
- ③freeサインのアカウントを、**ログイン名と同じアドレス**に変更する
<変更方法FAQは[コチラ](#) ※【メールアドレスを変更する場合】欄参照>

ステップ①：本設定を実施するアカウントの“ユーザー情報”と“アクセス権”を確認する

14

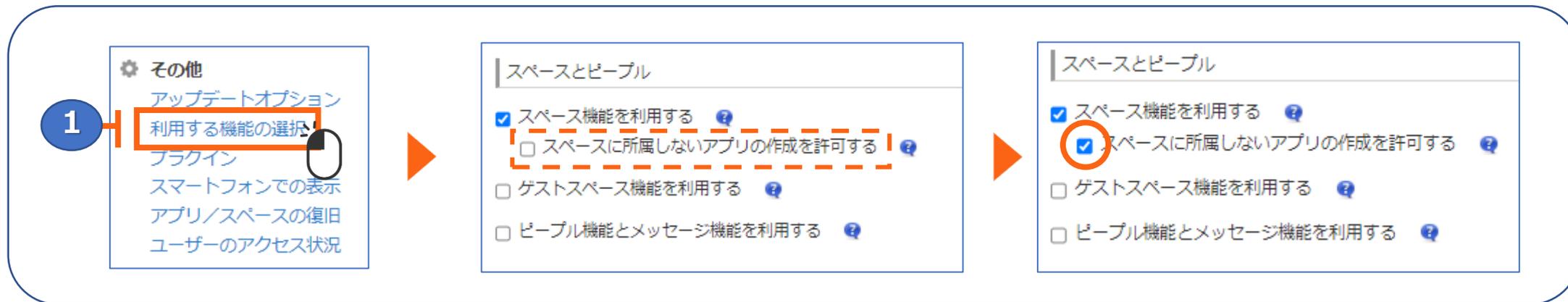
<概要②>

cybozu共通管理にて“管理者”であることと、kintone共通管理のアクセス権限の設定は異なります。

※管理者としては登録するが、アプリの作成等は制限するなどの組み合わせも可能です。

そのため事前にkintone共通管理メニューより、本設定を実施する管理者ユーザーの次ページを参照しアクセス権限設定をご確認ください。

なお、kintoneコネクタからアプリを作成する場合、スペースに所属しないアプリとして作成しますので、kintone管理メニューの「**その他**」欄「**利用する機能の選択**」より、「スペースとピープル」欄の「**スペースに所属しないアプリの作成を許可**」するを有効にしてください。

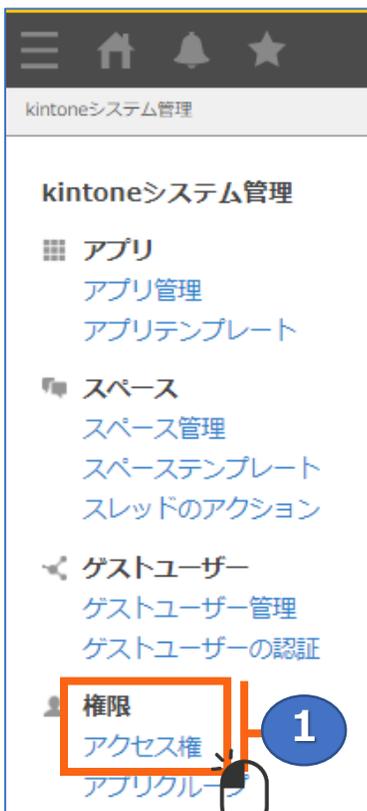


ステップ①：本設定を実施するアカウントの“ユーザー情報”と“アクセス権”を確認する

15

1. 「kintoneシステム管理」ページの左側メニューから「権限」欄より「アクセス権」を選択します。
2. 「アクセス権」のページより、本設定を実施する管理者ユーザーに対して「アプリの作成」権限が優先して有効となるように設定しているかを確認し、必要に応じて設定を変更してください。

※アクセス権限の詳細にや設定方法についてご不明な点がございましたら、kintoneの専門的な設定内容により、お手数でございますがcybozu社へお問合せください。



アクセス権の一覧

行を追加して、アクセス権を設定します。上の行の設定が優先されます。

cybozu.com共通管理者には、すべての権限が付与されます。

追加する

優先順位	ユーザー/組織/グループ	アクセス権の継承	システムの管理	アプリグループの管理 (閲覧のみ)	アプリグループの管理	アプリの作成	スペースの作成	ゲストスペースの作成
	つぼめ太郎	<input type="checkbox"/> 下位組織に継承する	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 許可			
	freeサイン株式会社	<input checked="" type="checkbox"/> 下位組織に継承する	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 許可
	所属組織	<input checked="" type="checkbox"/> 下位組織に継承する	<input checked="" type="checkbox"/> 許可					
	Everyone	<input type="checkbox"/> 下位組織に継承する	<input type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	<input type="checkbox"/> 許可

ステップ①： cybozu共通管理から本設定を実施するアカウントの“ユーザー情報”を確認する



次回は：**ステップ②**： freeサインにテンプレート登録しているかを確認する



ステップ② : freeサインにテンプレート登録しているかを確認する

● **ステップ②** : freeサインにテンプレート登録しているかを確認する

スタート

18

<概要>

kintoneコネクタからfreeサインを利用して文書を作成するアプリは、以下の2種類あります。

- ①ファイルから文書作成アプリ = 自分・相手方共に署名押印を必要としない場合
ローカルに保存した帳票ファイルなどのPDFファイルを
アップロードして送信する場合に利用します。

※kintoneコネクタに最初から登録されています。初回のみkintoneコネクタよりアプリの作成を実施いただく必要があります。
本アプリは1個のみ作成可能です。

- ②テンプレートアプリ = 署名押印を必要とする（自分・相手方のみの場合も含む）
freeサインに登録した文書（契約書など）のテンプレートを利用して
文書ファイルの作成と送信をする場合に利用します。

※freeサインにテンプレートの登録を行うことで、kintoneコネクタに表示されアプリの作成が行えます。

ご利用いただく場合には、初期設定を実施する前に、次ページの手順でfreeサインにテンプレート登録がされているかをご確認のうえ、未登録の場合には接続設定を実施する前にテンプレートの登録を行ってください。





ステップ②：freeサインにテンプレート登録しているかを確認する

19

1.freeサインにログインします。

https://ninja-sign.com/users/sign_in

おかえりなさい

メールアドレス

パスワード

ログイン

または

freeアカウントでログイン



The screenshot shows the 'freeサイン' dashboard. On the left, there are navigation buttons: '文書を作成' (blue), 'ワークフローを申請' (orange), and '文書管理' (grey). Below these are status filters: '完了', '要確認' (with a red '4' badge), '確認待ち', '受け取り待ち', '作成中', '有効期限切れ', '却下', and '全てのステータス'. There is also a '一括作成・送信一覧' button. The main area is titled '文書一覧' and contains a search bar with the placeholder 'フリーワードで検索する場合はこちら'. Below the search bar are buttons for '検索項目を選択', '条件を追加', and '検索'. There are also buttons for 'PDFアップロード' and 'フォルダ作成'. A table header shows 'ルートフォルダ', '全選択', and 'チェック項目の操作' with buttons for '送信', '再送', '締結', '移動', and '削除'. The table columns are 'ファイル名', 'ステータス', and '作成日'.

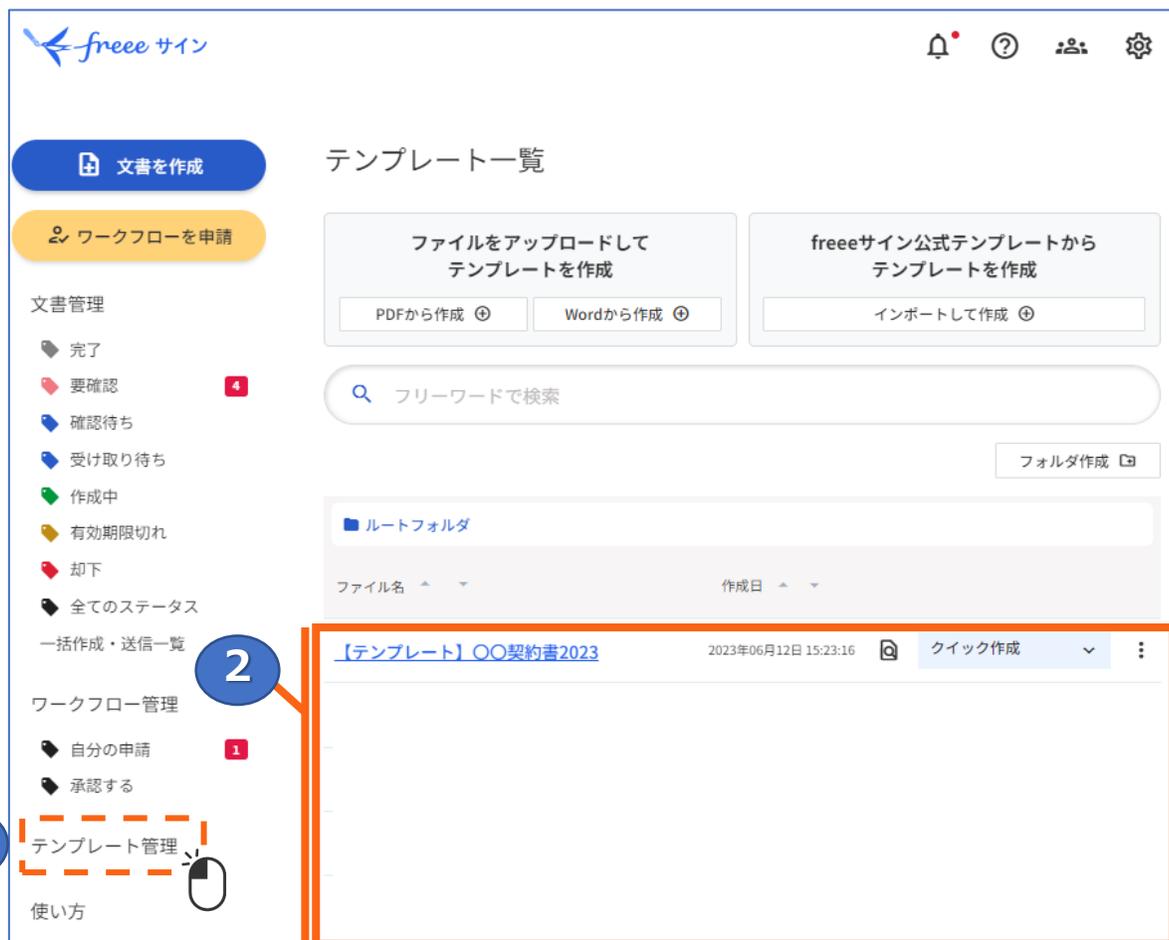


ステップ②：freeサインにテンプレート登録しているかを確認する

20

- 1.左側メニューより「**テンプレート管理**」を選択します。
- 2.一覧にkintoneで利用するテンプレートが表示されているかを確認します。

※フォルダが表示されている場合は、フォルダを開いて確認してください。



<未登録の場合>

以下のFAQを参照いただき、テンプレートの登録を実施してください。

▼テンプレートを登録する (PDF)

<https://support.freee.co.jp/hc/ja/articles/6492899515929>

相手方が2名以上の場合

▼テンプレートを登録する (PDF) 【三者間以上】

freeサインのプランがLightプラン・LightPlusプラン・Proプラン・ProPlusプランの場合は、Wordテンプレートもご利用いただけます。

※ご利用いただいているプラン名がご不明の場合は、freeサインへログイン後、右上の  アカウントボタンをクリックしてご確認ください。

▼テンプレートを登録する (Word)

<https://support.freee.co.jp/hc/ja/articles/6469476165785>



次回は：**ステップ③**：KintoneにIPアドレス制限を設定している場合の確認と設定



ステップ③： KintoneにIPアドレス制限を設定している場合の確認と設定

● **スタート** ステップ③ : KintoneにIPアドレス制限を設定している場合の確認と設定

23

<概要>

ご利用のKintone環境で“IPアドレス制限”を設定している場合、**kintoneコネクタのIPアドレス**の登録が必要です。

※登録しないと、kintoneコネクタとkintoneを連携する際に、

「**kintone情報が正しくありませんでした**」と表示され、設定を進める事ができないため
ご留意ください。

- ・ IPアドレス**制限を実施している場合**は、次ページへ進み登録を実施してください。
- ・ IPアドレス制限を設定していない（“**すべてのIPアドレスを許可**”）設定となっている場合は、本設定は不要です。[ステップ④](#)へお進みください。
- ・ IPアドレス制限を設定しているかがご不明の場合は、次ページに進んで確認してください。

ステップ③：KintoneにIPアドレス制限を設定している場合の確認と設定

24

1. 「cybozu.com共通管理」ページを表示し、左側「システム管理」欄より「アクセス制限」を選択します。
2. 「今すぐ設定する」をクリックします。



cybozu.com

ホーム
契約状況

ユーザー管理
組織/ユーザー
サービスの利用ユーザー
役職
グループ (ロール)
一括操作
ファイルからの読み込み
ファイルへの書き出し
ユーザーの一括削除

管理者の設定
組織の事前設定
組織間のアクセス権
プロビジョニング

システム管理
セキュリティ
ログイン
アクセス制限
監査ログ
閲覧とダウンロード

ドメイン: [] ドメインID: []

アクセス制限の設定

IPアドレス制限や、Basic認証を設定し、セキュリティを強化します。

IPアドレス制限
IPアドレスにより接続元を判断し、サービスへのアクセスを制限する機能です。

Basic認証
制限したIPアドレスからのアクセスに、ユーザー名とパスワードによる認証を掛ける機能です。

注意: 設定を間違えると、このサービスにアクセスできなくなる可能性があります。
設定を間違えてサービスにアクセスできなくなった場合は、サイボウズドットコムストア から設定し直してください。

今すぐ設定する

ステップ③：KintoneにIPアドレス制限を設定している場合の確認と設定

25

1. 「IPアドレス制限」欄を確認します。

「すべてのIPアドレスを許可」と表示されていれば本設定は不要です。[ステップ④](#)へお進みください。

「すべて拒否」「一部許可」の場合、以下のIPアドレスを登録してください。

▼登録するIPアドレス：34.84.168.93 CIDR：24

アクセス制限の設定

IPアドレス制限 変更

1

「すべてのIPアドレスを許可」が設定されています。

Basic認証

IPアドレスを制限している場合のみ、設定できます。

<登録方法がご不明の場合>

誠に恐れ入りますがkintone側の専門設定により。

弊社にてご案内を行うことができません。

お手数でございますが、cybozu社へお問合せください。

※ <接続設定> ステップ②で“kintone情報が正しくありませんでした”と表示され、本ページを再確認し設定された方は、[P44より再開](#)してください。



次回は：**ステップ④**：Kintoneコネクタのユーザの登録を実施する

[- 目次に戻る -](#)



ステップ④： Kintoneコネクタのユーザの登録を実施する

● **スタート** ステップ④ : Kintoneコネクタのユーザの登録を実施する

28

<概要>

初期設定およびテンプレートアプリの作成には、 **kintoneコネクタ**にログインして実施いたします。

kintoneコネクタをご利用いただくにあたり**ユーザの登録が必要**です。

次ページへ進み登録を実施してください。

※アプリの作成および設定完了後は、kintoneコネクタを利用せずkintoneより操作可能です。



ステップ④：Kintoneコネクタのユーザの登録を実施する

29

1. 「▼kintoneコネクタ ログイン画面」欄のURLを開きます。

※URLはfreeサイン担当者よりご契約開始までにメールにてご案内いたします。

万が一届いているご案内にURLの記載がされていない場合は、お手数おかけし誠に恐縮でございますが、メールをお送りしている担当者、またはfreeサインカスタマーサポート（メール・チャット・電話）までお問合せください。

<freeサインカスタマーサポート>

営業時間：平日のみ（年末年始を除く）

午前：10:00～12:00 午後：13:00～17:00

お問合せ方法

メール：support@freee-sign.com 宛にお問合せください。

チャット：freeサインログイン後、右下に表示されている吹き出しマークをクリックし、「メッセージを送信」をクリック。

「メッセージを送信」欄にお問合せ内容を入力して「Enter」キーを押下してください。

※お問合せウィンドウが表示されない場合はブラウザの更新を実施してお試しください。

電話：freeサインへログイン後、左側メニュー下部の「電話でのお問合せ」欄をご確認ください。

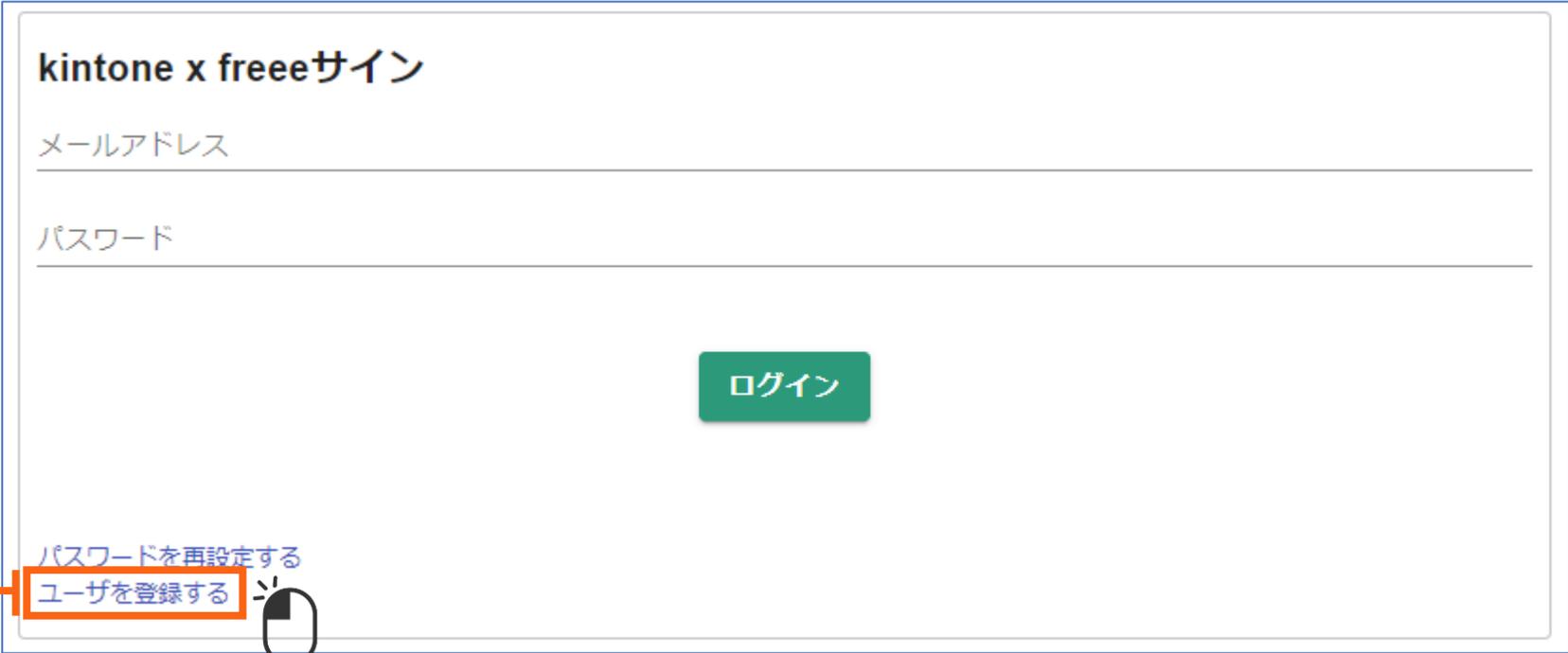


ステップ④： Kintoneコネクタのユーザの登録を実施する

30

1.左下に表示されている「**ユーザを登録**」をクリックします。

※ユーザ登録後のログイン画面のため、以下のページをお気に入り（ブックマーク）へ登録することを推奨しております。



kintone x freeサイン

メールアドレス

パスワード

ログイン

パスワードを再設定する

ユーザを登録する

ステップ④：Kintoneコネクタのユーザー登録を実施する

31

1. A~D欄を入力します

2. **ユーザを登録する** ボタンをクリックします。



と確認が表示されるので

「はい」をクリックします。 ※まだ本登録は完了していませんのでご注意ください

1

A <姓・名・会社名>
kintoneコネクタを利用する担当者の情報を入力します。

B kintoneコネクタへログインするメールアドレスを登録します。
※freeサイン・kintoneと同じである必要はありません。

C テナントIDの自動作成の をクリックして を付けます。

D 「kintoneコネクタ」にログインするための専用パスワードを設定して入力します。
※半角の大文字・小文字・数字・記号の4種類を組み合わせ8文字以上（32文字以内）で登録してください。

2 **ユーザを登録する**

準備
<備考>
ステップA (P35) から本ページを参照するためにページを移動された場合 [P35へ戻る](#)

フォーム内容:
kintone x freeサイン
姓
名
会社名
メールアドレス
テナントID
 テナントIDの自動生成
パスワード(半角の大文字・小文字・数字・記号の組み合わせで)
パスワード(確認用)

ステップ④：Kintoneコネクタのユーザの登録を実施する

32

1. 「**ユーザ登録しました。～**」のポップアップが表示されたら、登録したメールアドレスの受信ボックスを確認し、届いたメールを開きます。
2. メール本文に記載されている**リンクのURL**をクリックします。
3. 「**メールアドレス確認が完了されました**」とポップアップが表示されたらとユーザ登録は完了です。

Good!

1

✔ ユーザを登録しました。登録したメールアドレスに確認メールが送信されました。数秒後、ログインページに自動的に移動します。 ✕



2

kintone x freeサインのメールアドレスの確認

noreply@ktn-x-ninjasign.firebaseio.com

To [redacted]

[redacted] 様

メールアドレスを確認するには、次のリンクをクリックしてください。

<https://ktn-x-ninjasign.firebaseio.com/completeaction?mode:>

このアドレスの確認を依頼していない場合は、このメールを無視してください。

よろしくお願いいたします。

kintone x freeサイン チーム

3

✔ メールアドレス確認が完了されました。ログイン画面にお戻りください。 ✕

事前準備完了



次回は：接続設定>ステップA：freeサインとkintoneコネクタを接続する



ステップA : freeサインとkintoneコネクタを接続する

● ステップA : freeサインとKintoneコネクタを接続する

スタート

35

1.kintoneコネクタのURLを開きます。

※ユーザ登録後のログイン画面のため、以下のページをお気に入り（ブックマーク）へ登録することを推奨しております。

2.P31 **B** で登録したメールアドレスとパスワードを入力します。※ **ヒント** P31（ステップ④）へ戻り確認する

3. **ログイン** ボタンをクリックします。

4.画面が切り替わったらログイン成功です。

The diagram illustrates the login process for Kintone x freeサイン. It is divided into four numbered steps:

- 1**: Access the 'kintone x freeサイン' page. The page title is 'kintone x freeサイン'. Below the title, there are two input fields: 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password). A bracket labeled '入力' (Input) spans both fields. A keyboard icon is shown below the password field, with a blue circle '2' indicating the input step.
- 2**: Input the email address and password into the respective fields.
- 3**: Click the 'ログイン' (Login) button, which is highlighted with a green box.
- 4**: The screen transitions to the 'kintone x freeサイン' interface. The page title is 'kintone x freeサイン'. The interface shows a 'ログイン成功' (Login Successful) message in a blue box. Below the message, there are two sections for connecting to Kintone: 'freeサイン OAuth 2.0' and 'kintone サブドメイン'. Each section has a '連携をする' (Connect) button. The 'kintone サブドメイン' section includes a URL field with '.cybozu.com/' and a note: 'クライアントID/シークレットを設定するにはサブドメインを入力してください' (To set the client ID/secret, please enter the subdomain).

At the bottom left of the diagram, there is a link: 'パスワードを再設定する ユーザを登録する' (Reset password Register user).

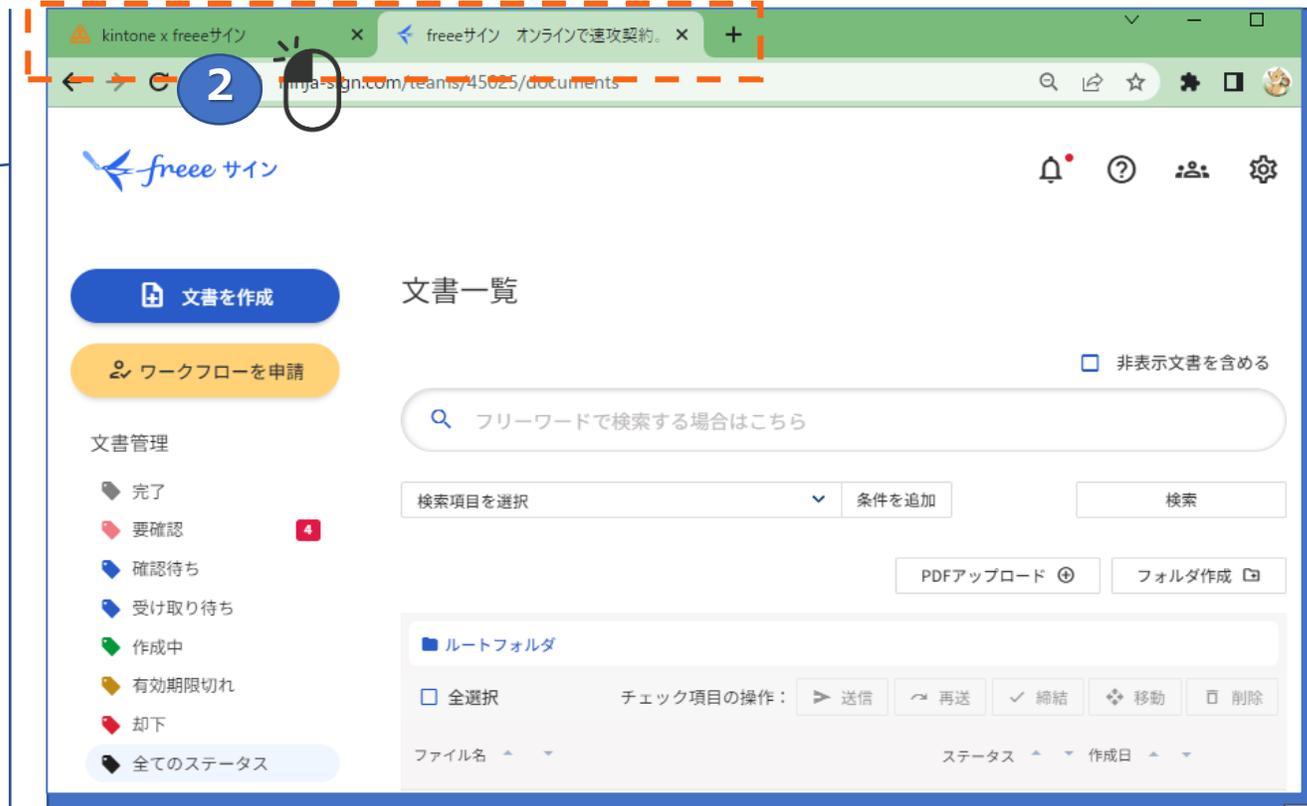
ステップA： freeサインとKintoneコネクタを接続する

36

- 1.同じブラウザの“新しいタブ”でfreeサインを開きログインします。
- 2.Kintoneコネクタと、freeサインにログインした2つのタブにしたたら、「kintoneコネクタ」のタブをクリックします。



“kintoneコネクタ”と“freeサイン”を別のタブで表示



ステップA : freeサインとKintoneコネクタを接続する

37

1. 「連携設定」タブが選択されているので、上段「freeサイン OAuth 2.0」欄の「Webhookパスワード」の入力欄右端に表示されている  をクリックし、 の表示に切り替えます。
2. 「Webhookパスワード」に登録するパスワードを新しく決めて入力します。

※半角の大文字・小文字・数字・記号の4種類を組み合わせ8文字以上（32文字以内）で登録してください。



kintone x freeサイン

連携設定 連携エラーログ KINTONEアプリ

freeサイン OAuth 2.0 連携をする

Webhookパスワード(半角の大文字・小文字・数字・記号の組み合わせで8文字以上・32文字以内) 

2

1

新しく決めて入力

kintone サブドメイン  <https://>

クライアントID/シークレットを設定するにはサブドメインを入力してください

クライアント ID 

クライアントシークレット 

連携をする

<備考>
ステップE (P73) から
本ページを参照するために
ページを移動された場合
[P73へ戻る](#)

ステップA： freeサインとKintoneコネクタを接続する

38

1. 入力したパスワードが作成条件を満たしているかを確認します。

※半角の大文字・小文字・数字・記号の4種類を組み合わせ8文字以上（32文字以内）

2. 入力したパスワードをメモ帳等に控えます。

3. **必ずメモに控えたパスワードと相違がないかを確認してください。**



本項で設定したパスワードは最後の設定時に入力いたします。

失念された場合には再確認を行えないため、連携を解除して再設定が必要となりますのでご注意ください。



☰ kintone x freeサイン

連携設定 連携エラーログ KINTONEアプリ

ここに登録したパスワードは最後の設定箇所（freeサインのWebhook）設定時にも入力します。

freeサイン OAuth 2.0

入力したパスワード

連携をする

kintone
サブドメイン

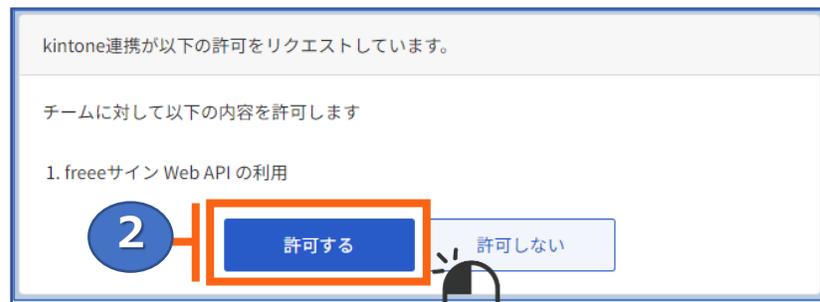
連携をする



ステップA : freeサインとKintoneコネクタを接続する

39

1. 準備が整ったら **連携をする** ボタンをクリックします。
2. **許可する** ボタンをクリックします。
3. **再連携をする** **連携を解除する** ボタンの表示に変わりfreeサインとの連携は成功です。





次回は：**ステップB**：kintoneとKintoneコネクタを接続する



ステップB : kintoneとKintoneコネクタを接続する

● ステップB： kintoneとKintoneコネクタを接続する

スタート

42

1. 「サブドメイン」に接続するkintoneのドメインを入力します。

kintone
サブドメイン
https:// /
クライアントID/シークレットを設定するにはサブドメインを入力してください
クライアントID
クライアントシークレット



ポイント

※ドメインはkintoneログイン画面

または「cybozu.com共通管理」ページよりご確認ください。

入力後、以下の画面に展開

kintone
サブドメイン
https:// .cybozu.com/
OAuthクライアントの追加に以下の情報を入力してください。
クライアント名 kintone x freeサイン
リダイレクトエンドポイント 一部分だけのURLが表示
保存後は、cybozu.comページの「連携利用ユーザーの設定」で連携利用ユーザーにチェックを入れてください。
※チェックを一度でもはずすと連携ができなくなるので絶対にはずさないでください。
連携利用ユーザーの設定 有効
cybozu.comページの をクリックしたらクライアントID/シークレットが表示されます。
連携利用ユーザーの設定 有効
クライアントID
クライアントシークレット

ステップB：kintoneとKintoneコネクタを接続する

43

1. 「OAuthクライアントの追加」の文字をクリックします。
2. 新しいタブで「OAuthクライアントの追加」の画面が表示されます。
3. Kintoneコネクタの画面に切り替えます。

2 新しいタブで表示



※ドメインはkintoneログイン画面

または「cybozu.com共通管理」ページよりご確認いただけます。

ステップB : kintoneとKintoneコネクタを接続する

44

1. Kintoneコネクタ「クライアント名」欄右端の  (コピー) ボタンをクリックします。
2. 「OAuthクライアントの追加」画面に切り替えます。
3. 「クライアント名*」の入力欄に貼り付けます。
4. 「kintoneコネクタの画面」に切り替えます。



Kintoneコネクタからコピー



はりつけ



ステップB: kintoneとKintoneコネクタを接続する

45

1. Kintoneコネクタ「リダイレクトエンドポイント」欄右端の  (コピー) ボタンをクリックします。
2. 「OAuthクライアントの追加」画面に切り替えます。
3. 「リダイレクトエンドポイント*」の入力欄に貼り付けます。
4.  ボタンをクリックします。



Kintoneコネクタからコピー



はりつけ



ステップB：kintoneとKintoneコネクタを接続する

46

1. 画面下部に追加された「kintone x freeサイン」の右側 **利用者の設定** の文字をクリックします。
2. 「Kintone x freeサインとの連携を利用するユーザーの設定」画面が表示されます。

cybozu.com

ホーム
契約状況

ユーザー管理
組織/ユーザー
サービスの利用ユーザー
役職
グループ (ロール)
一括操作
ファイルからの読み込み
ファイルへの書き出し
ユーザーの一括削除
管理者の設定
組織の事前設定
組織間のアクセス権
プロビジョニング

システム管理
セキュリティ
ログイン
アクセス制限
監査ログ
閲覧とダウンロード
設定
外部連携
OAuth

ドメイン: [redacted] ドメインID: [redacted]

OAuth

標準サービスを設定する

この機能は、kintone でのみ利用できます。

次の外部サービスと連携できます。
連携を有効にすると、外部のサービスからkintoneのデータの取得や操作が可能になります。

外部サービスとの連携を許可する

Microsoft Power Automate 無効

Slack 無効

高度な連携を設定する

この機能は、kintoneとGaroonでのみ利用できます。

OAuthクライアントを設定します。
 OAuthクライアントの使用

kintone x freeサイン **利用者の設定** 有効

OAuthクライアントの追加

kintone x freeサイン

利用者の設定

freeサイン オンラインで速攻契約

cybozu.com

ホーム
契約状況

ユーザー管理
組織/ユーザー
サービスの利用ユーザー
役職
グループ (ロール)
一括操作
ファイルからの読み込み
ファイルへの書き出し
ユーザーの一括削除
管理者の設定
組織の事前設定

ドメイン: [redacted] ドメインID: [redacted]

kintone x freeサインとの連携を利用するユーザーの設定

ユーザー検索 [input]

1 - 1 / 1

すべての組織

所属組織

freeサインサポート

組織に未所属のユーザー

すべてのユーザー

表示名

つばめ太郎

保存 キャンセル





ステップB：kintoneとKintoneコネクタを接続する

47

1. 管理者のが所属している組織から、本設定を実施している管理者ユーザーの

をクリックして (チェック) を付けます。

※kintone連携を利用するメンバーユーザーを同様にチェックを付けます。

※メンバーは後から設定可能ですが、設定を実施している管理者ユーザーは必ずチェックを付けてください

2.  ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'kintone x freeサイン' admin interface. The page title is 'kintone x freeサインとの連携を利用するユーザーの設定'. The domain is 'freeサイン' and the domain ID is 'freeサイン'. The user 'つばめ太郎' is selected in the user list. The '保存' button is highlighted at the bottom.





ステップB： kintoneとKintoneコネクタを接続する

48

1. 続いて「kintone x freeサイン」の右端 （編集）ボタンをクリックします。
2. 「kintone x freeサインの編集」画面が表示されます。
3. 何もせず「kintoneコネクタ」の画面に切り替えます。

cybozu.com

ホーム
契約状況

ユーザー管理
組織/ユーザー
サービスの利用ユーザー
役職
グループ（ロール）
一括操作
ファイルからの読み込み
ファイルへの書き出し
ユーザーの一括削除
管理者の設定
組織の事前設定
組織間のアクセス権
プロビジョニング

システム管理
セキュリティ
ログイン
アクセス制限
監査ログ
閲覧とダウンロード
設定
外部連携
OAuth

ドメイン： [redacted] ドメインID： [redacted]

OAuth

標準サービスを設定する

この機能は、kintone でのみ利用できます。

次の外部サービスと連携できます。
連携を有効にすると、外部のサービスからkintoneのデータの取得や操作が可能になります。

外部サービスとの連携を許可する

Microsoft Power Automate 無効

Slack 無効

高度な連携を設定する

この機能は、kintoneとGaroonでのみ利用できます。

OAuthクライアントを設定します。
 OAuthクライアントの使用

kintone x freeサイン 利用者の設定 有効 

OAuthクライアントの追加

cybozu.com

ホーム
契約状況

ユーザー管理
組織/ユーザー
サービスの利用ユーザー
役職
グループ（ロール）
一括操作
ファイルからの読み込み
ファイルへの書き出し
ユーザーの一括削除
管理者の設定
組織の事前設定
組織間のアクセス権
プロビジョニング

システム管理
セキュリティ
ログイン
アクセス制限
監査ログ
閲覧とダウンロード

ドメイン： [redacted] ドメインID： [redacted]

ヘルプ

kintone x freeサインの編集 削除

クライアント名 * kintone x freeサイン

クライアントロゴ (参照) (最大800KB)
クライアントのロゴ画像です。

リダイレクトエンドポイント * 貼り付けたリダイレクトエンドポイントのURLが表示
cybozu.comでの認可が成功した後に移動するURLです。
 OAuthクライアントの使用

クライアントID コピーする“クライアントID”が表示

クライアントシークレット コピーする“クライアントシークレット”が表示
第三者に漏らさないよう取扱いには注意してください。

認可エンドポイント 認可エンドポイントのURLが表示

トークンエンドポイント トークンエンドポイントのURLが表示

保存 キャンセル

※本画面を閉じてしまった場合は、「cybozu.com共通管理メニュー」
-左側メニューの「外部連携」欄より「OAuth」を選択して表示してください。



ステップB: kintoneとKintoneコネクタを接続する

49

1. 「kintone x freeサインの編集」画面の「クライアントID」欄右側の英数字をコピーします。
2. 「kintoneコネクタ」の画面に切り替えます。
3. 「クライアントID」の入力欄に貼り付けます。
4. 「kintone x freeサインの編集」画面に切り替えます。



クライアントIDを選択するときは、ダブルクリックではなく、3回（トリプルクリック）すると全部選択できます。

連携をする

サブドメイン
https:// **ドメイン** cybozu.com/

OAuthクライアントの追加に以下の情報を入力してください。

クライアント名 kintone x freeサイン

リダイレクトエンドポイント 一部分だけのURLが表示

保存後は、cybozu.comページの「連携利用ユーザーの設定」で連携利用ユーザーにチェックを入れてください。
※チェックを一度でもはずすと連携ができなくなるので絶対にはずさないでください。

連携利用ユーザーの設定 有効

cybozu.comページの をクリックしたらクライアントID/シークレットが表示されます。

連携利用ユーザーの設定 有効

クライアントID

クライアントシークレット

3

クライアント名 * kintone x freeサイン

クライアントロゴ (参照) (最大800KB)
クライアントのロゴ画像です。

リダイレクトエンドポイント * 貼り付けたリダイレクトエンドポイントのURLが表示
cybozu.comでの認可が成功した後に移動するURLです。
クライアントのURLの末尾に「/oauth/authorize」を付与してクライアントの使用

クライアントID コピーする"クライアントID"が表示

クライアントシークレット コピーする"クライアントシークレット"が表示
第三者に漏らさないよう取扱いには注意してください。

認可エンドポイント 認可エンドポイントのURLが表示

トークンエンドポイント トークンエンドポイントのURLが表示

保存 キャンセル

Kintoneコネクタにはりつけ

今後はこちらからコピー

ステップB: kintoneとKintoneコネクタを接続する

50

1. 「クライアントシークレット」欄右側の英数字をコピーします。（※今度はダブルクリックで全選択できます）
2. 「kintoneコネクタ」の画面に切り替えます。
3. 「クライアントシークレット」の入力欄に貼り付けます。
4. 「kintone x freeサインの編集」画面に切り替えます。

kintone
サブドメイン
https:// **ドメイン** cybozu.com/

OAuthクライアントの追加に以下の情報を入力してください。

クライアント名 kintone x freeサイン

リダイレクトエンドポイント 一部分だけのURLが表示

保存後は、cybozu.comページの「連携利用ユーザーの設定」で連携利用ユーザーにチェックを入れてください。
※チェックを一度でもはずすと連携ができなくなるので絶対にはずさないでください。

連携利用ユーザーの設定 有効

cybozu.comページの をクリックしたらクライアントID/シークレットが表示されます。

連携利用ユーザーの設定 有効

貼り付けた「クライアントID」が表示

クライアントシークレット

Ctrl + V

kintone x freeサインの編集

クライアント名 * kintone x freeサイン

クライアントロゴ (参照) (最大800KB)
クライアントのロゴ画像です。

リダイレクトエンドポイント * 貼り付けたリダイレクトエンドポイントのURLが表示
cybozu.comでの認可が成功した後に移動するURLです。
 OAuthクライアントの使用

クライアントID コピーする「クライアントID」が表示

クライアントシークレット コピーする「クライアントシークレット」が表示
第三者に漏らさないよう取り扱いには注意してください。

認可エンドポイント 認可エンドポイントのURLが表示

トークンエンドポイント トークンエンドポイントのURLが表示

保存 キャンセル

3

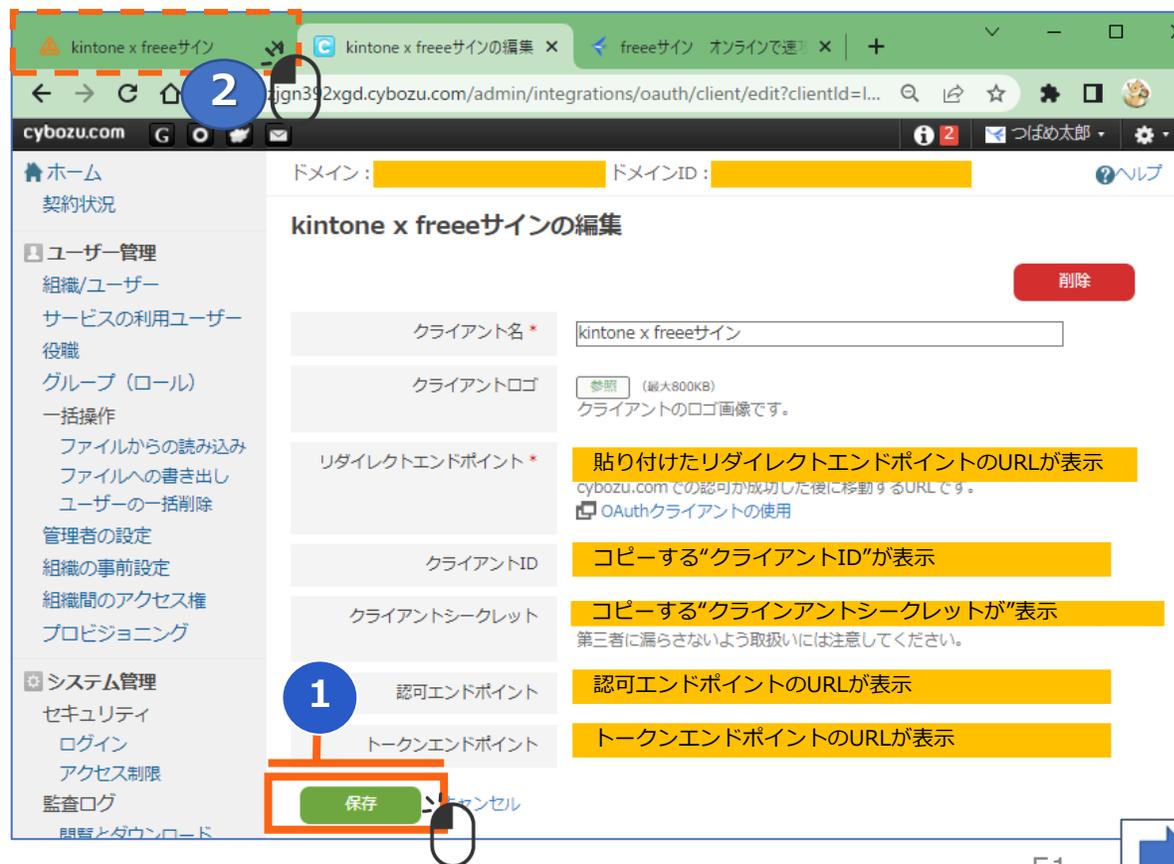
Kintoneコネクタにはりつけ

もう一度こちらからコピー

ステップB : kintoneとKintoneコネクタを接続する

51

1. 「kintone x freeサインの編集」画面の **保存** ボタンをクリックします。
2. 「kintoneコネクタ」の画面に切り替えます。
3. **連携をする** ボタンをクリックします。



ステップB : kintoneとKintoneコネクタを接続する

52

1. 接続が開始され確認のポップアップ画面が表示されたら

許可 をクリックします。

2. 接続完了後「kintoneコネクタ」からログアウトされ、ログインページに戻ります。



上記の表示が出た場合は、IPアドレス制限設定を再確認してください。[<事前準備>ステップ③へ](#)



ステップB： kintoneとKintoneコネクタを接続する

53

1. Kintoneコネクタにログインし、以下の画面通り両方共に

再連携をする

連携を解除する

と表示されたら成功です。



続いては、テンプレートアプリの作成を実施します。

☰ kintone x freeサイン

連携設定 連携エラーログ KINTONEアプリ

freeサイン OAuth 2.0	再連携をする	連携を解除する
kintone	再連携をする	連携を解除する

ステップB： kintoneとKintoneコネクタを接続する



次回は：**ステップC**： Kintoneコネクタからfreeサインに登録したテンプレートのアプリを作成する



ステップC：作成したテンプレートアプリにWebhookを登録する

ステップC： Kintoneコネクタからfreeサインに登録したテンプレートのアプリを作成する

56

1. 「kintoneアプリ」タブをクリックします。
2. 「保存先フォルダ」の  をクリックし、freeサインに保存する先のフォルダを選択します。

※フォルダを未作成の場合はrootを選択してください。

**チェック** 

freeサインにフォルダを作成する方法は
ヘルプページ ([▼フォルダを作成する](#)) を
ご参照ください。

ステップC： Kintoneコネクタからfreeサインに登録したテンプレートのアプリを作成する

57

1. **作成** ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'Kintone x freeサイン' interface. At the top, there are tabs for '連携設定', '連携エラーログ', and 'KINTONEアプリ'. Below the tabs, there is a warning message: '必ず、アプリのWebhook URLを設定してください。 ※再連携後は、アプリのWebhook URLのみ再設定してください。' The main content area lists several items with their descriptions and a '作成' button next to each. The items are: 'Kintone > 説明' (description), 'Kintone > Webhook URL' (Webhook URL), 'Kintone > 通知を送信する条件' (notification conditions), 'freeサイン > Webhook URL' (Webhook URL), and 'freeサイン > トリガーイベント' (trigger events). The '作成' button for the 'freeサイン > Webhook URL' item is highlighted with a red box and a '1' in a blue circle, indicating the next step.

タイトル	保存先フォルダ	KintoneのWebhook URL設定
ファイルから文書作成		
【テンプレート】 ○○契約書2023	root	

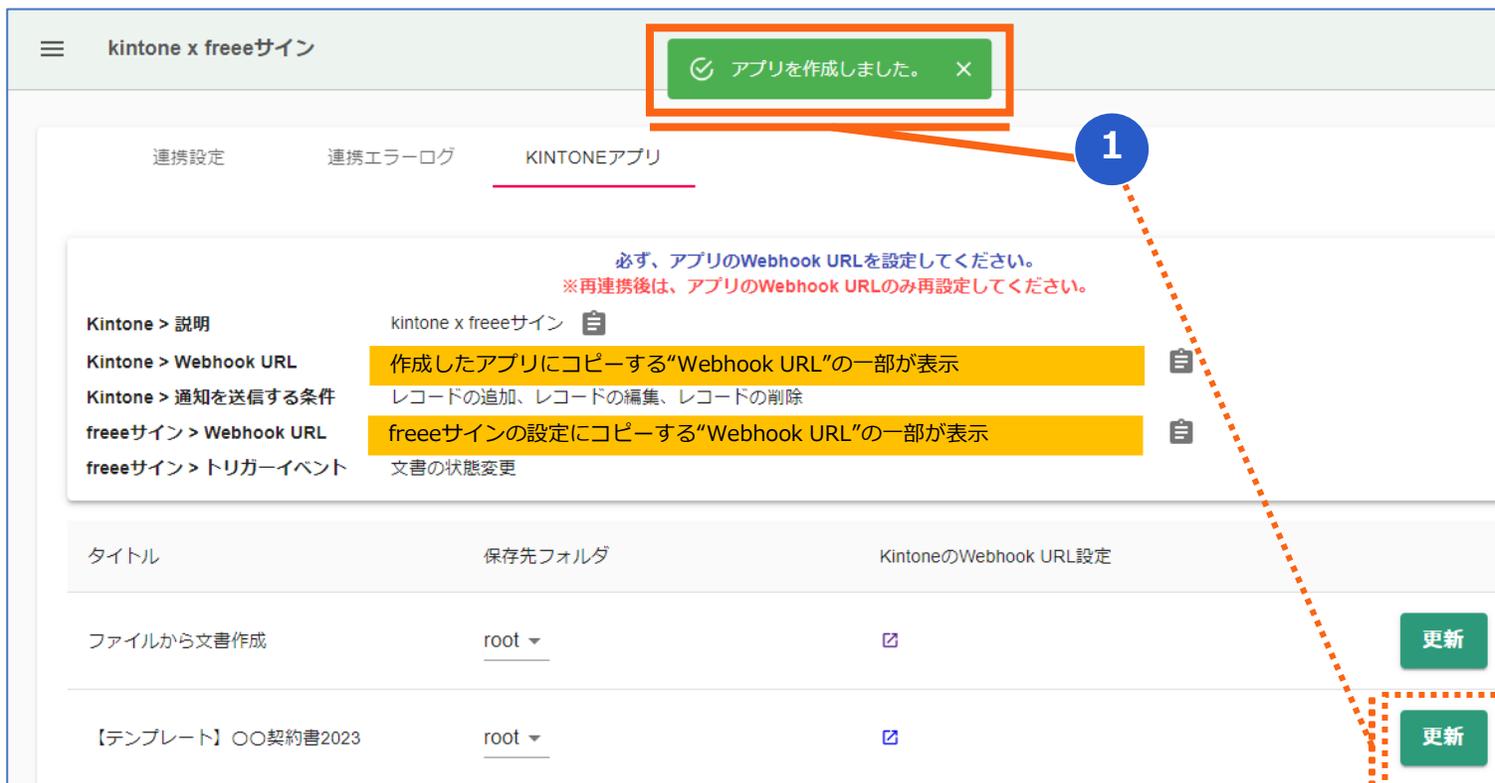
ステップC: Kintoneコネクタからfreeサインに登録したテンプレートのアプリを作成する

58

1. ✔ アプリを作成しました。 × とポップアップが表示され、作成 から 更新 ボタンへ

表示が変わりアプリの作成は成功です。👍
Good!

※接続設定は完了です。続いて作成したアプリを動作させるため、“**連動設定**”に進みます。



!

※アプリの作成に失敗する場合は以下を確認してください。

- ・freeサインに登録した該当テンプレートへ入力項目・押印を登録していない場合
(事前準備: [ステップ②参照](#))
※最低1つの入力項目または押印の設定が必要です。
入力項目・押印を必要としない文書ファイルの作成・送信は、「ファイルから文書作成」アプリをご利用ください。
- ・入力項目を設定しているが作成に失敗する
▼プルダウンの入力項目を登録している場合
①プルダウンの選択リストに文字の先頭に空白が入力されているリストが存在している。
先頭の空白を削除して入力項目を更新してください。
②185文字以上で入力されているリストが存在している。
184文字以内 (※freeサイン仕様) に修正して更新してください

ヘルプページ: [▼入力項目を追加・確認・編集する](#)

ステップC： Kintoneコネクタからfreeサインに登録したテンプレートのアプリを作成する



次回は：**連動設定** > **ステップD**：作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する



「連動設定」ステップD・ステップEの両方を実施していないとKintoneでテンプレートアプリから文書作成時に「保存」ボタン押下後に、「**下書き作成**」、または“下書き作成後”に「**文書送信**」ボタンが表示されず、文書作成が行えませんのでご注意ください。



ステップD：作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する



ステップD : 作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する

61

1. 作成したテンプレートアプリの「kintoneのWebhook URL設定」欄の



をクリックします。 ※新しいタブで「Webhookの追加」画面が表示されます。

必ず、アプリのWebhook URLを設定してください。
※再連携後は、アプリのWebhook URLのみ再設定してください。

Kintone > 説明	kintone x freeサイン
Kintone > Webhook URL	作成したアプリにコピーする“Webhook URL”の一部が表示
Kintone > 通知を送信する条件	レコードの追加、レコードの編集、レコードの削除
freeサイン > Webhook URL	freeサインの設定にコピーする“Webhook URL”の一部が表示
freeサイン > トリガーイベント	文書の状態変更

タイトル	保存先フォルダ	KintoneのWebhook URL設定	
ファイルから文書作成	root		更新
【テンプレート】〇〇契約書2023	root		更新

Webhookの追加

説明

Webhook URL *

通知を送信する条件

有効化

このWebhookを有効にする

⚠ 複数アカウントをご利用の場合

権限がありません。

アカウントを切り替えてご利用されている場合、上記の画面が表示される場合があります。管理者権限ユーザーでkintoneにログインしなおしてご確認ください。





ステップD : 作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する

62

1.作成したテンプレートアプリの「kintoneのWebhook URL設定」欄の
をクリックします。



Kintoneコネクタからコピー



はりつけ



ステップD : 作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する

63

1.作成したテンプレートアプリの「kintoneのWebhook URL設定」欄の
をクリックします。



Kintoneコネクタからコピー



はりつけ



ステップD：作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する

64

1. 「**通知を送信する条件**」欄より、以下の3つの をクリックして を付けます。
 - ・レコードの追加
 - ・レコードの編集
 - ・レコードの削除
2. **保存** ボタンをクリックします。

Webhookの追加

説明
kintone x freeサイン

Webhook URL *
https:// kintoneコネクタから貼り付けたWebhook URL

通知を送信する条件 ?

レコードの追加 レコードの編集 レコードの削除 コメントの書き込み ステータスの更新

有効化
 このWebhookを有効にする

< Webhookの一覧に戻る

キャンセル

保存

<ご注意>
「コメントの書き込み」
「ステータスの更新には」
絶対にチェックを付けないでください。



ステップD : 作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する

65

- 1.“Webhookが追加されました。”と表示され、以下の画面に推移します。
- 2.左下に表示されている  ボタンをクリックします。



Webhookが追加されました。
変更を反映するには、アプリの設定に戻り、[アプリを更新]ボタンをクリックしてください。

Webhook URL

Webhook URL	説明		
kintoneコネクタから貼り付けた Webhook URL	kintone x freeサイン	ログを確認	 

< アプリの設定に戻る

**<ご注意>**

「アプリの更新」を実施するまで、
保存したWebhookの設定は反映しません。
ここで画面は閉じずに、必ず本手順を
最後まで実施してください。

ステップD : 作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する

66

1. 「アプリの設定」画面に推移されたら、右上に表示されている  ボタンをクリックします。

2. 確認メッセージが表示されるので、  ボタンをクリックします。

※更新に時間がかかる場合は、何も操作せずにレコード一覧の画面が表示されるまでお待ちください。

更新途中で画面を切り替えてしまうと正常に設定が反映しない場合がありますのでご注意ください。





ステップD : 作成したテンプレートアプリにWebhook URLを登録する

67

1. アプリの更新が完了すると、レコードの一覧が表示され設定は成功です。



The screenshot shows the Kintone interface for an application named '【テンプレート】OO契約書2023'. The top navigation bar includes the Kintone logo, user profile 'つばめ太郎', and search bar. The main content area shows a record list with columns: レコード番号, タイトル, ステータス, freeサイン処理ステータス, 送信者, 送信先(1), 電話番号, 作成者, 更新者, 作成日時, 更新日. The list is currently empty, displaying 'データがありません。' and '0 - 0 (0件中)'. A red dashed box highlights the header row. A blue circle with the number '1' points to the '一括下書き作成' button.

ステップD : 作成したテンプレートアプリにWebhookを登録する



次回は : **ステップE** : freeサインの設定にWebhookを登録する



ステップE : freeサインの設定にWebhookを登録する

● ステップE : kintoneとKintoneコネクタを接続する

スタート

70

- 1.freeサインの画面に切り替えます。
- 2.右上の歯車 ⚙️ (設定) ボタンをクリックします。
- 3.「**インテグレーション**」欄より「**Webhook**」をクリックします。





ステップE : kintoneとKintoneコネクタを接続する

71

1. 「Webhook設定」の「URL」欄の右下に表示されている Webhookを追加する ⊕ をクリックします。

ホーム > 設定 > Webhook

Webhook設定

「文書の状態変更」などのイベントが発生した際に通知を受け取るURLを登録できます。
Webhookの詳細については、[freeサイン Web API・Webhook 利用ガイド](#)または、[freeサイン Webhook](#)をご参照ください。

URL

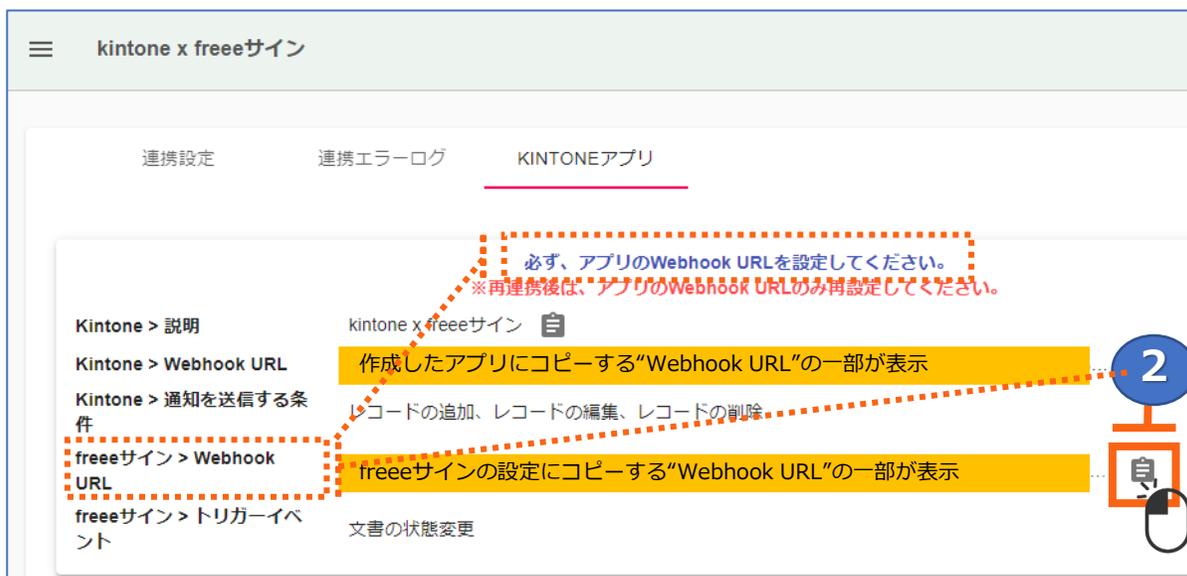
Webhookを追加する ⊕



ステップE : kintoneとKintoneコネクタを接続する

72

1. 「kintoneコネクタ」の画面に切り替えます。
2. 「必ずアプリのWebhook URLを設定してください」欄に表示されている左側の
下から2行目「freeサイン> Webhook URL」欄右端の  (コピー) ボタンをクリックします。
3. freeサインの画面へ切り替えます。
4. 「URL」の入力欄へ貼り付けます。



ステップE : kintoneとKintoneコネクタを接続する

1. 「不正リクエスト対策パスワード」欄へP37（接続設定ステップA）でメモに控えたWebhookパスワードを入力します。



<ご注意ください>

相違したパスワードでも登録自体はできてしまいますが、kintoneからテンプレートアプリで文書を作成（※レコード作成）した際に、レコードの「保存」ボタンを押下後にパスワードが一致しないため「文書作成」ボタンが表示されません。

<パスワードを失念してしまった場合は>
接続設定でkintoneコネクタとfreeサインの連携を解除し、新しいパスワードを登録して再連携してください。
接続後、本画面で登録したパスワードを入力してください。

ヒント

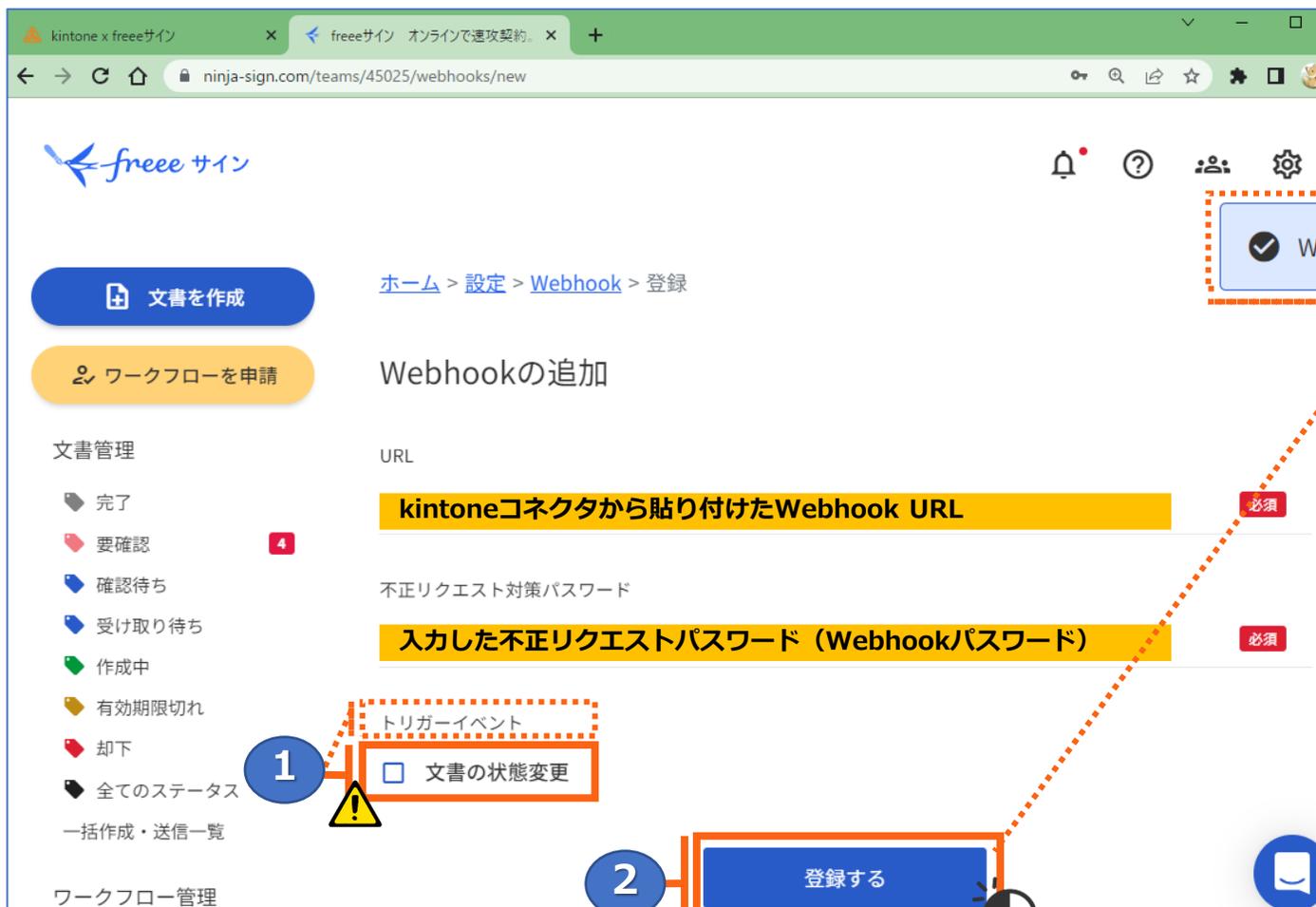
<パスワードをメモに控えた設定場所>
接続設定ステップA : **P37を確認する**

マニュアルページを確認する

ステップE : kintoneとKintoneコネクタを接続する

74

1. 「トリガーイベント」欄の「文書状態の変更」の をクリックして を付けます。
2.  ボタンをクリックします。



<補足> 
 を付けることで、受領者（相手方）が署名合意を実施した場合、締結等を実施した場合に freeサインとkintoneでのステータスが一致するように同期させる重要な設定です。

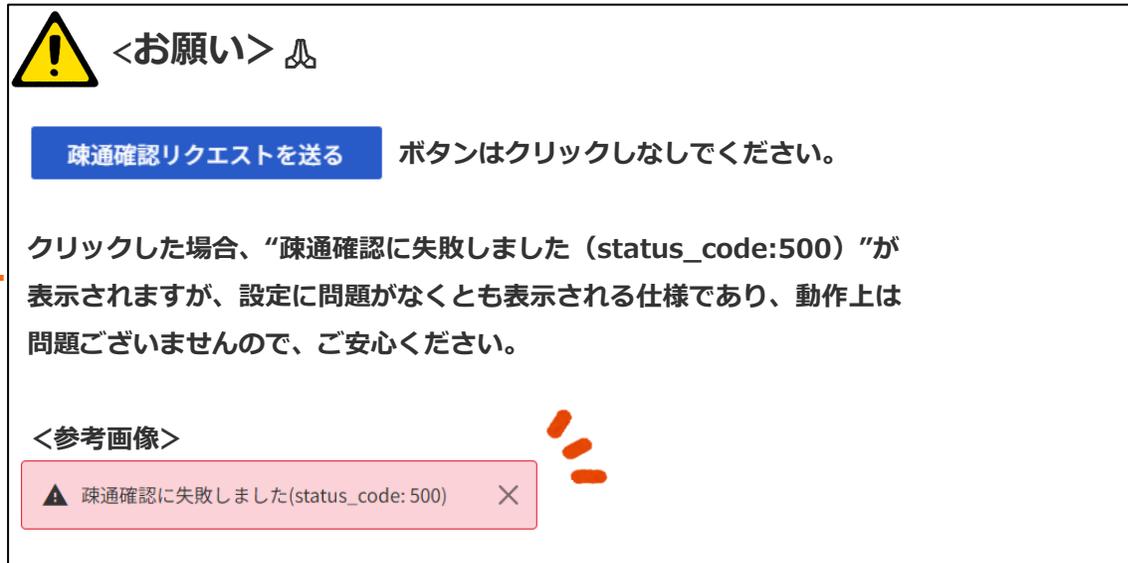
ステップE : kintoneとKintoneコネクタを接続する

75

1. 「Webhookを登録しました」とポップアップが表示されたら設定は成功です。



The screenshot shows the Kintone Webhook registration interface. At the top, a navigation breadcrumb reads "ホーム > 設定 > Webhook > https://asia-northeast1-ktn...". A notification banner at the top right says "Webhookを登録しました" with a checkmark icon, highlighted by an orange box and a blue circle with the number "1". Below this, the "Webhook詳細" section shows the "URL" field containing "kintoneコネクタから貼り付けたWebhook URL", highlighted in yellow. A blue button labeled "疎通確認リクエストを送る" is highlighted with a dashed orange border and a yellow warning triangle. Below the button, the "トリガーイベント" field is shown with a red 'X' over a mouse cursor icon. At the bottom, there are two buttons: "編集する" (blue) and "削除する" (red).

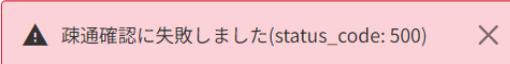


<お願い> 

疎通確認リクエストを送る ボタンはクリックしなしてください。

クリックした場合、“疎通確認に失敗しました (status_code:500) ”が表示されますが、設定に問題がなくとも表示される仕様であり、動作上は問題ございませんので、ご安心ください。

<参考画像> 



ステップE：freeサインの設定にWebhookを登録する



続いて操作マニュアルをご確認のうえ実際の操作をお試しくください。

操作マニュアルへはkintone連携で利用できるfreeサインの機能（できること・できない事）や、**操作に関する留意事項**を記載しておりますので、必ず事前にご確認ください。



<アプリのフォームをカスタムされる場合>

カスタム前にテスト操作を実施して正常に文書の作成・送信ができることを事前にご確認いただいたうえで実施してください。

また、編集を実施される前に必ず別紙にて提供しております**フォームカスタムに関する留意事項**をご確認ください。
弊社ではフォームのカスタムにおいては動作保証外となりますので、あらかじめご了承ください。

[- 目次に戻る -](#)